

インカム戦略

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人 資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.10.6

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



インカム

株式といい、債券(権)といい、資産とは、資本構成上の地位であり、資本構成上の地位に従い、事業が創造する現金の分配を受け取る権利を指します。資産に内包されたキャッシュフロー(利金・分配金・配当金)をインカムと呼びます。インカムは、利息配当金等の総称です。

保守主義のインカム戦略

安定的なインカムの獲得を目指して、良質な事業キャッシュフローの源泉を厳選し、資本構成上の上位に投資することは、投資の保守主義の原則です。その保守主義を貫徹するのがインカム戦略です。

管理できない付随リスク(マクロリスク)の抑制

インカム戦略のリスク管理は、管理不能な付随リスク(マクロリスク)を抑制し、優良なキャッシュフロー源泉を厳選し、分散して投資するという管理可能な領域において、行われるべきものです。マクロリスクが抑制されているからこそ、安定インカムの獲得という保守主義を実現できるのです。

インカム源泉の分散

インカム戦略では、インカムの源泉を多様に分散してこそ、インカムが安定します。故に、マクロリスクを避け、より高いインカムを求めれば、自然と、ニッチかつ非効率な資産へ広く分散することになります。

価値と価格

資産の価値は、内包している将来インカムの現在価値です。市場理論は、資産の市場価格は、資産の価値に一致していることを仮定しています。仮定を認めるにしても、現実には、常時、価値と価格が一致しているわけではなく、一定期間、乖離している事態は、普通に、生じています。

割安な状況としての投資機会(プラス)

価格が価値を下回っている状況を、割安(バリュウ)といいます。割安は、非常に、魅力ある投資の機会です。この割安な機会への投資を、インカムに対して追加的な利益をもたらす機会として、プラス戦略と呼びます。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

資産運用の四つの原則

本源的価値(インカム)

- 資産が生み出す将来キャッシュフロー(利息配当金や賃料等のインカム)の現在価値
- 資産運用の課題 = インカムを高める(価値の増大を目指す)努力
- 期待インカム = 現在のインカム + 将来のインカムの変動(価値変動)

損失の可能性(リスク)

- 期待インカムの毀損 $\Rightarrow$ 価値の低下 $\Rightarrow$ 損失(リスク)
- 資産運用の課題 = 価値の毀損を回避する(リスクを避ける)努力

価格変動(ボラティリティ)

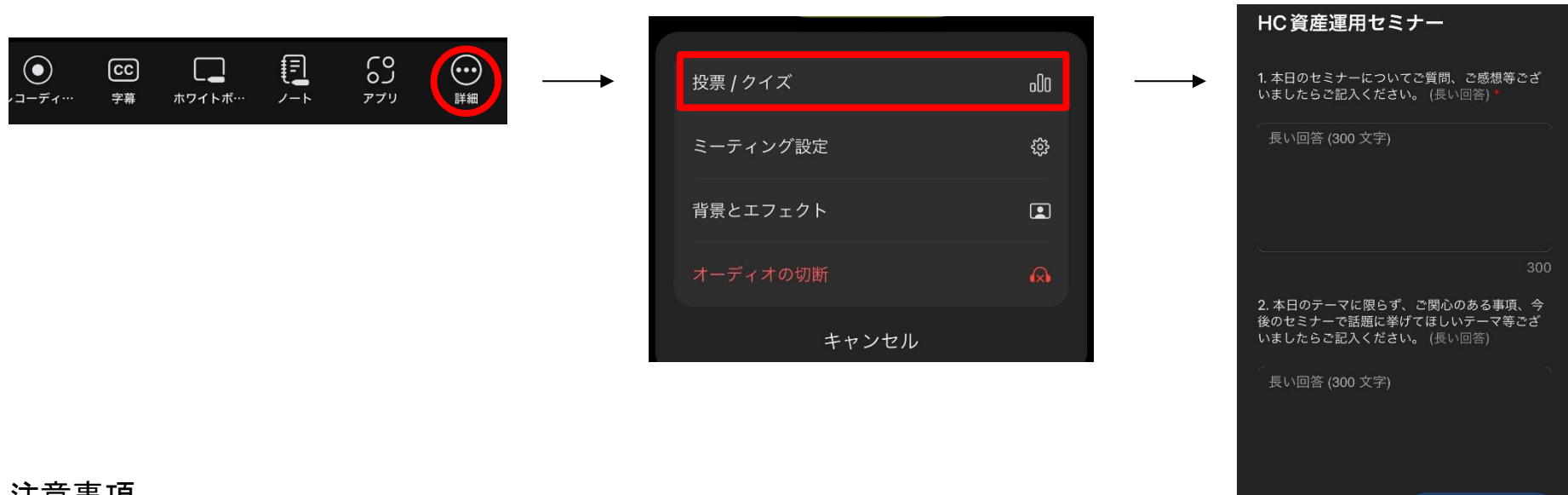
- 価値の周辺における市場価格の変動
- 価格が価値よりも低いとき(価値と価格の差がバリュー) = 投資の機会

保守主義

- 予測可能性の高いインカム
- 将来インカムの推計における仮定設定の保守主義
- 「安全性の厚み(マージン・オブ・セーフティ)」 = 価値と価格の差の大きさ
- 合理的に管理できること $\Rightarrow$ 価値の判断 $\Rightarrow$ 損失(リスク)の回避
- 合理的に管理できないこと $\Rightarrow$ 価格の予想 $\Rightarrow$ ボラティリティは管理できない(受け入れるしかない)

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。